

ネットワーク



△岩松地区の歴史は実相寺とともに

自然と史跡に恵まれた うるおいのあるまち

岩松

- ▼人口 一万五千三百五十三人
- ▼世帯数 四千二百五十世帯
(昭和六十一年一月一日現在)
- ▼面積 六・五一平方キロメートル

このコーナーでは、公民館単位に各地区の話題や人物を紹介します。あなたの地区でのちょっとしたこぼれ話、出来事、ご意見などありましたらご連絡ください。5月は富士南、6月は田子浦地区です。連絡先…市内永田町1-100 市広報広聴課 ☎51-0123 内線2822、締め切りは毎月15日です。

岩松地区は、岩本山台地と富士川の東岸に広がる地区で、今から八〇〇年ほど前に創建された岩本山実相寺の門前町とし発足しました。江戸時代の初期、古郡孫太夫父子三代にわたる治水事業「かりがね堤」の完成は、富士川流域の新田開墾を進め、洪水から完全に新田を守ることに成功しました。昔は、旧東海道の沿線として、また富士川の渡船場として旅人の往来の多い地域でもありました。現在は、次々と住宅が建ち並び新しい住宅地を形成しつつありますが、富士川河原の果樹園、岩本山台地東側の茶畑、そ菜畑など農業地域を残している地区でもあります。

また、かりがね堤から西の富士川河原、岩本山の樹林地帯など自然景観もすばらしく、市民のレクリエーションの場ともなっており、文化財も数多く残されている地域です。今後、文化財の保護や自然との調和を保ちながら、文教地区として健康で快適なまちづくりを目指します。



田島さん一家は双子の兄弟と父英一さん(五十二歳)・母芳子さん(四十一歳)の四大家族。長男の克彦君と次男の孝之君は



ほがらか家族

湯沢平一 田島さん一家



湯沢平一丁目に住む田島克彦君と孝之君は双子の兄弟。ことしそろって富士宮西高へ進学しました。一家団らん中の田島家におじやましてみました。

双子ですから当たり前かもしれないませんが、よく似ています。先生やクラスメートが間違えることがよくあり、幼いころの写真になると「自分たちでもどっちがどちらかわからない」とのこと。

岩松中学校時代は、二人とも陸上部に属していました。市民陸上大会では兄の克彦が走り高飛びで優勝、弟の孝之君が四百メートルで準優勝しています。また、ジュニアリーダーとしても活躍しました。

二人は、「決して相談はしませんが、結果として同じことをしています」と言います。

他人が見ると何から何までそっくりの二人も、お父さんから見ると「克彦は慎重派、孝之は行動派で正反対」といいます。お母さんは「とても手のかからない子供たちで私は楽ですよ」と大きな声で笑う。

田島さん一家の雰囲気は、ほがらか家族。ほがらかさの秘訣は、お母さんの笑い声にあると感じました。